

ファッションショー「仮面舞踏会」の

企画と衣装制作



ファッションショー開催の経緯とショーの構成

平成二一年度から三井アウトレットパーク多摩南大沢にて学生の作品発表および地域との繋がりを目的として、今まで六回のファッションショーを開催しました。参加学生は、「卒業研究」「服飾設計論」「衣構成学実習」「服飾造形実習」「生活デザイン演習」などの履修者です。ショーの企画は六か月前から、衣装制作は一年前から取り組みました。

ショーの構成と演出は、第一場はハロウィンの衣装に身を包んだ招待客が続々とお城に現れ、第二場は大広間の舞台でバレエ「コッペリア」やオペラ「椿姫」が上演されています。第三場は、貴婦人に紛れて王子様が登場します。招待客たちはおしゃべりやダンスに興じ、美味しいワインとお料理で楽しい時を過ごしています。こうしてハロウィンの夜は更けてゆくのです。



プロジェクト概要

- テーマ
ファッションショーの企画、実施および衣装の制作を行う。
- パートナー
三井アウトレットパーク多摩南大沢（八王子市）
- 担当教員
富田 弘美 講師
（現代生活学部生活デザイン学科）
- 実施期間
平成25年10月～平成26年10月

作品は、おとぎ話の「アリス」や「赤ずきん」のドレス、バレエ「コッペリア」のスペイン人形の衣装、オペラ「椿姫」のヴィオレッタとフローラの衣装、バレエ「白鳥の湖」よりロココ調の王妃とジークフリート王子の衣装などです。制作は、デザイン、素材検討、パターンメイキング、フィッティング、縫製の流れで仕上げます。

ファッションショーは、限られた時間や制約のある状況下での作業を進めることが求められます。教室で行う授業では得られない能力を体得する良い機会となります。

衣装制作とショーを実施することの意義